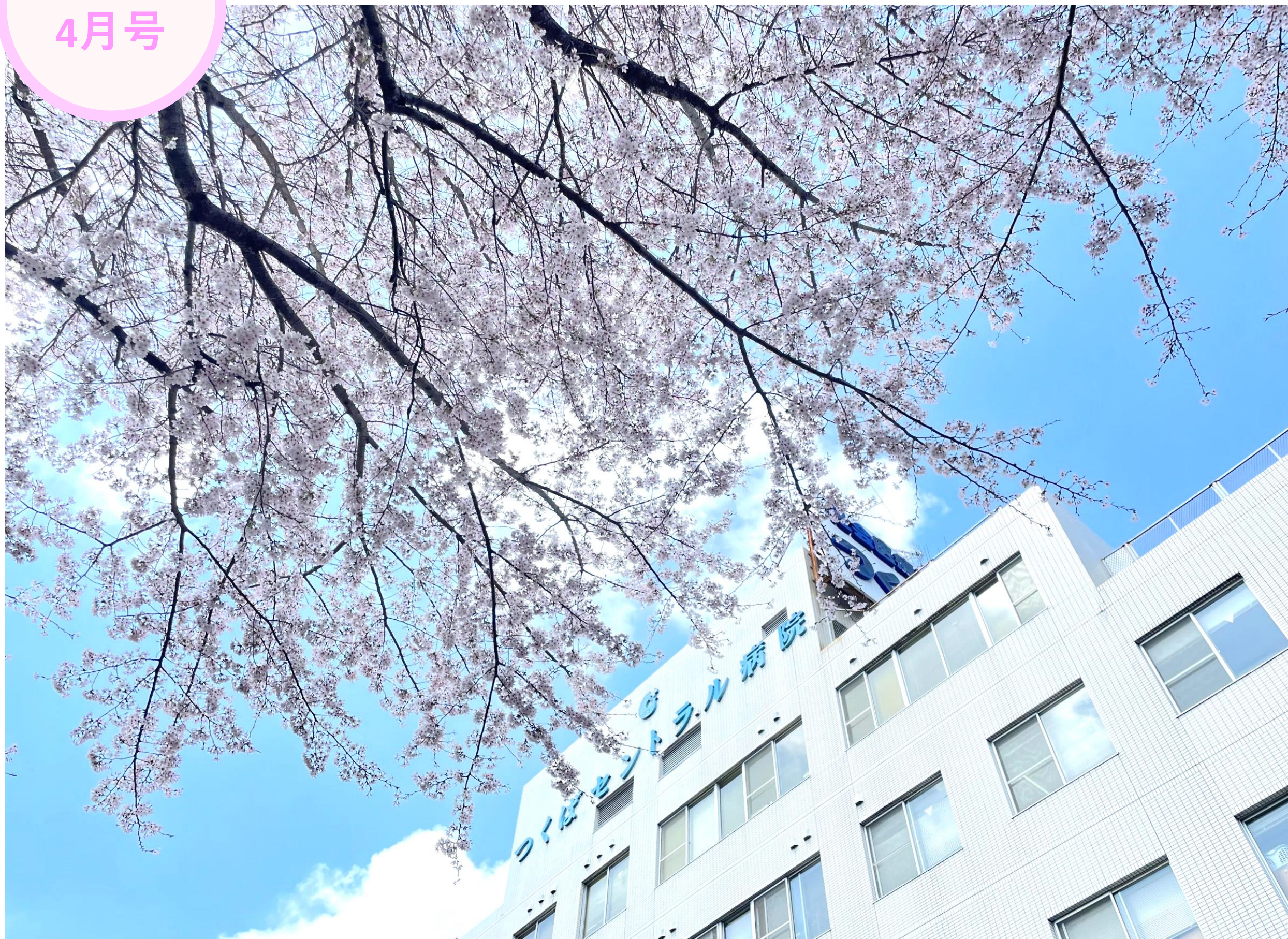


2024年  
4月号



2024年3月30日発行

発行 / 社会医療法人 若竹会 つくばセントラル病院

編集 / 地域連携室 発行人 / 病院長 金子 剛

住所 / 〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1589-3

電話 / 029-874-8592 FAX / 029-874-6636 (地域連携室)

### 【目次】

- P1 . . . 診療コラム 消化器内科 上野 卓教医師
- P2 . . . コラム 緩和ケア認定看護師の活動について
- P3 . . . 登録医紹介







消化器内科 上席部長  
上野 卓教医師

医学博士

日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医

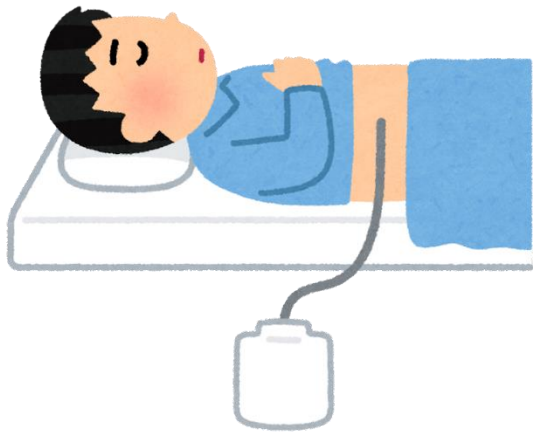
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

日本肝臓学会 肝臓専門医

日本内科学会 総合内科専門医

日本緩和医療学会 緩和医療認定医

日本医師会 産業医



## <CARTの実際>

当院では従来のCARTシステムを改良したKM-CART法を採用しています。腹水に機械的なストレスをなるべく加えずに行う方法で、大量の腹水を処理することができ、患者さんに優しい方法と考えられています。当院では、二泊三日の日程でCARTを行うことが多いです。

**1日目：**診察、CTや採血で全身状態・腹水の量の評価を行います。

**2日目：**朝、点滴を行いながらベッドに横になっていただき、腹部を十分麻酔して針を刺し、腹水を抜き始めます。血圧などをチェックしながら、腹水を適切な速度で数時間かけてできるだけ採取します。その間、注意しながらトイレなども可能です。

ある程度腹水を採取したところで、臨床工学士により腹水を同時進行でろ過濃縮していきます。腹水がろ過濃縮出来たら、新鮮なうちに点滴（再静注）していきます。夜もしくは翌日朝までに再静注を終了します。副作用で発熱する方がいますがたいていの場合解熱薬で対応が可能です。

**3日目：**診察（必要に応じて採血）を行い、経過が良好であれば退院となります。

当院では、がん性腹水を有する患者さんに対して腹水ろ過濃縮再静注法（CART）を行っています。

## <がん性腹水とは>

消化器がん・婦人科がんなど悪性腫瘍の腹膜転移により、大量の腹水が発生することがあります。そのため腹部膨満感や呼吸困難感に悩む患者さんがいらっしゃいます。がんによる腹水には、アルブミン、グロブリンなどの体に必要なタンパクが多く含まれています。

## <CARTとは>

利尿薬などの薬物治療で腹水が減少しない難治性腹水の方に適応があります。前述したように、がん性腹水には重要なタンパクが含まれています。単に腹水を抜く治療を行うと栄養分が抜けてしまい体力が落ちる、また腹水が貯留しやすくなるという悪循環になることが少なくありません。腹水をきれいな状態で体外に採取、フィルターを通して腹水中の不要物（がん細胞・細菌・血球成分）をろ過し、更に濃縮し静脈へ点滴します。タンパクをできるだけ回収し体内に戻すことによって、がん患者さんの腹部症状を改善し、体力を維持する効果が期待できます。

がん性腹水に対するCART治療に興味がある方は、消化器内科外来でご相談ください。





緩和ケア認定看護師

藤井 陽子

私は緩和ケア認定看護師として緩和ケア病棟（B3病棟）に所属しております。

緩和ケアの現場では、人生の最終段階にいる患者さんとそのご家族に出会い、さまざまな問題やケースに学ぶ事が多いです。緩和ケア病棟にはベテラン看護師が揃っており、それぞれの経験からケアの工夫や患者さんのニーズに応えた個別性のある看護も展開され、私自身もたくさん学ばせて頂いています。

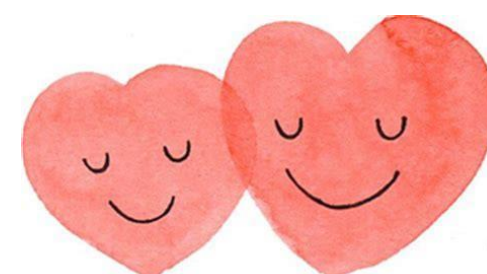
緩和ケア外来では、院内や近隣病院からの紹介患者さんの初診時に同席をしています。緩和ケア科の医師と共同してご本人とご家族の意思決定支援を行っています。そこでは患者さん・ご家族の自らの対処する力を支え苦痛を最小限に緩和し患者さん・ご家族らしい生き方や看取りを支えることを目標に介入しています。そして、住み慣れた自宅で過ごしたいという患者さんの意思を尊重し、最期までご自分らしく生活できるよう医療ソーシャルワーカーと連携し早めに在宅緩和ケアへの移行支援を行っています。

緩和ケア病棟では、医療スタッフと共に患者さんの痛みや症状をアセスメントしたり、日常のケアの中で患者さんのニーズや反応をいち早く捉え情報共有し継続した看護を行っています。私のこれからの課題は、療養中の患者さんの不安やご家族の悲嘆へのサポートのためのこころのケアに介入できるように努めていきたいと思えます。

私たちは今後も多職種と連携しながら、患者さんやご家族が望む生き方や「その人らしさ」を尊重したサポートができるように努めていきます。何かご相談などございましたらお気軽にご連絡ください。

## 活動内容

- ・緩和ケア外来（月曜日・火曜日午後）初診外来の同席、意思決定支援
- ・緩和ケアチーム 各病棟ラウンド（火曜日）
- ・面談：患者さんの精神的サポートなど、ご家族の面談（緩和ケア病棟のみ）
- ・各種勉強会 研修など

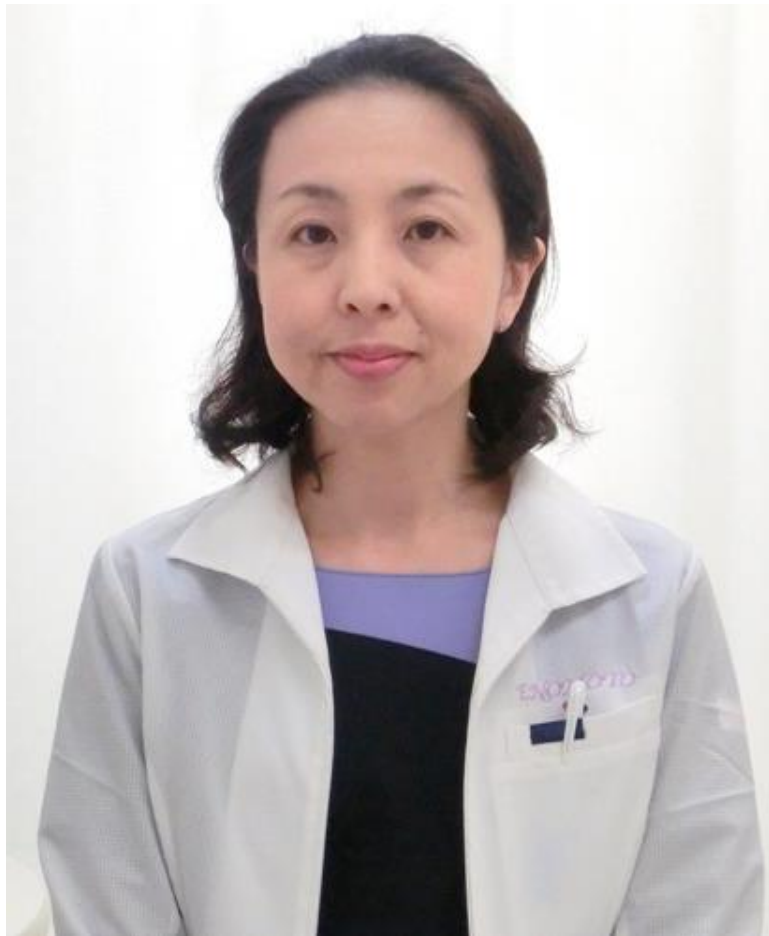


活動の様子



緩和ケア科 藤井看護師 佐藤師長  
下川部長





榎本 久子 院長



**【診療内容】** 一般皮膚科、小児皮膚科、美容皮膚科、アレルギー科、エイジングケア、点滴治療

**【診療時間】**

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	-	○	○	○	-
14:00~17:30	○	○	-	○	※	-	-

休診日：水曜・日曜・祝祭日  
※金曜午後は手術・美容のみ

**【診療予約について】**

診療は全て事前予約制です。直接ご来院頂いても受付できません。  
Web予約から会員登録していただき、ご予約下さい。  
1週間前からご予約が可能です。  
初診の方もWebで予約が出来ます。  
初診の方は、問診票を印刷して頂き持参いただくと受付がスムーズになります。  
ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

〒300-1207  
茨城県牛久市ひたち野東2-12-6  
TEL:029-871-1000  
ホームページ <https://enomoto-hifuka.com/>

皮膚は体を覆う一番大きな臓器です。体を守る、水分や体温の調節など多くの機能を持ち、常にさまざまなものにさらされています。そして、皮膚は大きな体の鏡でもあります。皮膚疾患の治療には、体の中から整えなくてはならないものもあります。

外にある皮膚だからこそ、よく見まわせれば皮膚疾患の原因がわかるものもあります。えのもと皮膚科では、現在の疾患の治療はもちろん、原因の検索、悪化や繰り返さないための対策などを一緒に考え、患者様ひとりひとりに合った医療を目指しています。



ひたち野うしく駅から徒歩10分